

地球温暖化による沿岸漁場環境への影響評価研究







(予算区分 受託 研究期間 平成20~22年度)
担当：漁業開発部資源海洋研究室

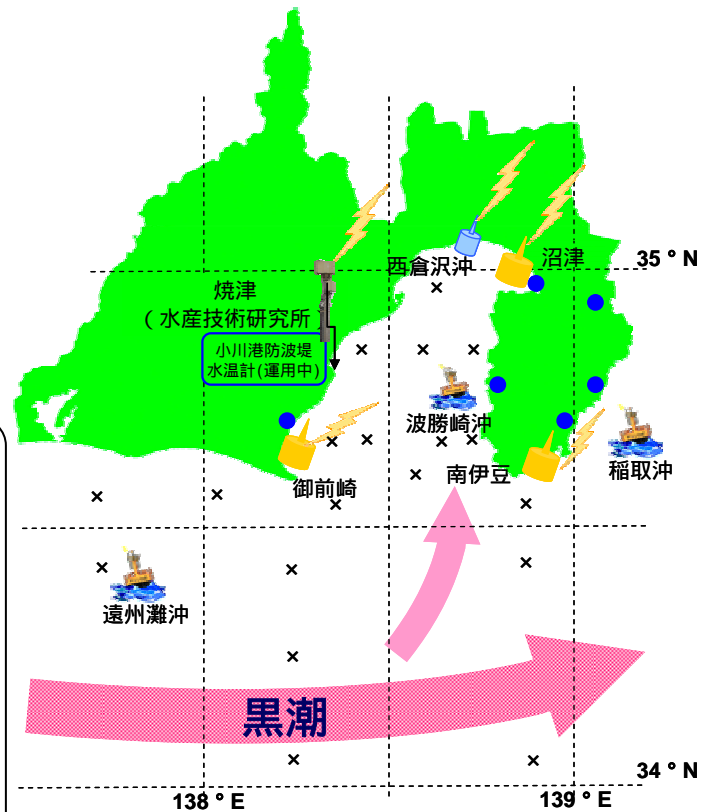
【研究の背景とねらい】

駿河湾奥部の養殖漁場、磯焼けの回復が遅れている伊豆半島や榛南地域において地球温暖化の影響を連続的にモニタリングする手法を構築する。また、これまでに定地観測やマリノロボ等によって得られたデータとの比較、解析等の処理を行うことで沿岸漁場環境への温暖化影響評価を行い、有効な対応策を講じることのできる体制を構築する。

【期待される成果】

主要な魚類養殖生産地である沼津地区、磯焼けが発生している伊豆、榛南地域の漁場環境変化をリアルタイムに捉えます。また、養殖生物や沿岸資源への地球温暖化の影響をより正確に把握することが可能になります。また、漁場環境の変化に対応した養殖飼育管理、操業が可能となります。

-  …今回設置を計画している水温自動観測ブイ
場所：御前崎、沼津、南伊豆
-  …沿岸定線観測点
-  …しずおかマリノロボ(運用中)
場所：遠州灘沖、波勝崎沖、稲取沖
-  …水温自動観測ブイ(運用中)
場所：西倉沢沖(由比)
-  …定地水温観測点
-  …水温自動観測装置(運用中)
場所：小川港(焼津)



【年次計画】

調査内容	H20	H21	H22
1 沿岸漁場環境のリアルタイム・モニタリング技術の開発			
自動観測ブイの仕様決定、導入設置	←→		
データ管理及び Web サイト表示システムの開発	←→	←→	←→
モニタリング手法の開発	←→		←→
2 温暖化の影響調査			
自動観測ブイ、定地観測、沿岸定線データの解析	←→	←→	←→
データ解析結果等によるモニタリング手法の検討と温暖化影響評価			←→

(作成 平成20年4月)